



全久院

🔑 ご逝去の際の手順

ご家族の一員が亡くなると、通夜や葬儀のために様々な準備を行わなければなりません。いざ亡くなったら何をしたらよいか分からないのが実情です。

病院などからの移送をする業者によって、葬儀式場が決まってしまう場合があります。どんな形で、どの式場で（全久院か、業者の会館か、公民館など）行つかを家族で前もって相談しておいてください。いざとなつてでは時間に追われ、判断が難しくなります。



全久院を式場にとお考えの方へは業者をご紹介します。

なお、ご自宅でご遺体をお迎えし、お通夜を営むのが本来のあり方と思いますが、様々な事情からご自宅では難しい方は、全久院でお受けしお通夜もできますのでご相談ください。

全久院ではご葬儀までの手配をお受けすることができます。

全久院からご紹介した業者は、ご遺体の病院などからの移送、役所への死亡届などの手続き、火葬場の手配、枕飾り、通夜の手配、葬儀の手配、受付やあとふきの手伝いなど、人手の手配を全て行いますので、皆様の手を煩わせません。

また檀家の皆様のご寄付により、300名分のイスの用意があります。

亡き人を送る儀式の場はやはりお寺を一番に考えていただきたいと思います。

檀信徒の皆様の寺ですので、会場費もいただきません。他の会館を使うよりかなり経済的な負担は少なくなります。

いざというときのためにも、まずは全久院にご相談ください。